



防災展@市役所ロビー
前地自治会が市役所ロビーで開催した
防災展。防災グッズや資料の展示。



うらわ区民祭り

2013年は浦和駅東西通路開通もあり、各会場で初めての同日開催となった。



ライトダウン2013冬至
さいたま市、埼玉県の後援事業へお手伝い。
省エネを優しく問いかける。



小柳よしふみ 地域活動



通学路の横断歩道の整備
埼玉県警にも協力を頂いて、
通学路の横断歩道を移設。



木崎地区防災倉庫の設置
防災倉庫の新設。広い木崎地域には、
中央エリアに防災倉庫が必要。



ミニ大宮の視察
子どもたちだけで、社会作り、職業体験をする事業。
浦和区など他のエリアでの開催も望まれる。
ドイツで先駆的取り組みが行われている。



さいたま市自立支援ルーム
家庭や心の問題など、困難を抱えた若者が
自立するためのサポートをする施設。
今年度から開設。

みなさんのご意見・ご要望をお待ちしています

お名前

TEL

ご住所

このままFAXでご送信下さい。FAX **048-799-3233**



「後援会イベントでハイ、チーズ！」

市政へのご要望・ご質問は

小柳よしふみ

事務所

〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町23-19-2F

TEL: 048-799-3232 FAX: 048-799-3233

E-mail info@koyanagi.jp

ホームページ http://koyanagi.jp/

ブログ http://ameblo.jp/y-koyanagi/

ご来場をお待ちしております！

第11回市政報告会

浦和パルコ 10F

日時: 平成26年 **1月26日** (日)

18:30~19:45

会場: 浦和コミュニティセンター
第14集会室

入場無料

1F「理容うらわ」の2F
小柳よしふみ事務所パルコ
●埼玉りそな銀行
●ミヤモト薬局リアルホーム
武蔵野銀行
トヨタレンタリース埼玉

こやなぎ

小柳よしふみ

小柳よしふみ

検索

市政レポート
2014.1 vol.11小柳よしふみ 事務所 〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町23-19-2F TEL: 048-799-3232 FAX: 048-799-3233
E-mail info@koyanagi.jp ホームページ http://koyanagi.jp/ ブログ http://ameblo.jp/y-koyanagi/

年頭所感

混乱の12月定例会で2013年が終わり、 明るく着実に前進する2014年へ

さいたま市長選挙や参議院議員選挙など大きな選挙が行われ、さいたまクリテリウムbyツールドフランスが開催されるなど、報道をにぎわすようなニュースが多かった2013年。竜巻被害やゲリラ豪雨による浸水など、近年の気象の変化をうかがわせる災害などもありました。

さいたま市議会でも、12月定例会では、廃案になる議案が2件出るなど混乱も見られました。特に、さいたまクリテリウムの補正予算議案については、様々な議論がありました(中面に関連記事)。廃案になる議案が出るなど、なかなかのことです。そういう意味では、混乱の12月定例会でありました。

私は、さいたま市民の将来的な幸せは、地に足の着いた着実な施策の積み重ねの先にあると考えています。現役世代、子育て世代が喜んで住みとなる街。ご高齢者が生き生きと活躍し、その経験や知恵が活かされる街。誰もが分け隔てなく自由に活動できる街。音楽や芸術、スポーツ文化で心豊かに過ごせる街…。

いろんな将来像が考えられますが、それは一つひとつの地道な施策の積み重ねの成果であるはず。もちろん、市民や街を活性化させる大きなプロジェクトも必要です。ただ、単発の打ち上げ花火では意味がないと思います。市政の他の施策との関連性、連動性などをしっかり図る必要があると思います。そして、地道な施策の積み重ねが大きな成果として花開いた時に、それがさいたま市の個性となるのだと信じています。

2014年は、新しい総合振興計画(基本計画・実施計画)のもとに市政運営が始まります。しっかりと地に足の着いた市政になるように取り組んでいきたいと考えます。2014年の小柳よしふみの活動にも、どうかご期待頂きますよう、お願い申し上げます。



■昭和40年(1965年)8月27日生まれ A型

■浦和市立高砂小、岸中、県立浦和高、
慶應義塾大学商学部卒業。■埼玉銀行を経て、警備会社を経営。平成23
年5月よりさいたま市議会議員(浦和区)。
■総合政策委員会、予算委員会所属。毎月第3日曜16時から浦和駅西口駅頭で
お伝えしています。

さいたま市TOPICS

1. 浦和駅西口から羽田空港への 直行バスが運行開始



浦和駅から羽田空港への直行バスの運行が12月16日より始まった。浦和駅発は、1日13便、羽田発は17便。料金は大人1500円。途中、武蔵浦和駅を経由。羽田は、国際線の発着枠も今春拡大の予定。浦和が世界により近くなります。

2. 総合振興計画(後期基本計画)が 策定される



総合振興計画は、市政運営の根本をなすもの。
初めて議会で議決が行われた(中面に関連記事)。

3. さいたまクリテリウム by ツールドフランスの 補正予算議案が廃案



実行委員会への補助金追加のための補正
予算議案が廃案となる。金額の大きさやその
手続きなどが議論に(中面に関連記事)。

4. 遠藤秀一、本間和義 両副市長が就任



木下達則副市長との副市長3人体制となる。
多くの政令市で副市長3人制が取られている。

予算委員会

さいたまクリテリウムbyツールドフランス関係補正予算が廃案に

本件は、実行委員会形式で行われた事業について、追加の補助金申請が市にあったことに対する補正予算です。その額は1億5200万円。当初予算で1億5000万円を計上していましたが、それをも上回る追加額となりました。

事業後に追加の申請となった経緯も議論になりました。同様なケースは他の自治体でもあったようですが、議会や市民への事前説明もない巨額の予算には、市が追加で補てんすることの正当性も含めて議論となっています。大規模イベント事業の在り方や今回の成果についても検証の必要があります。

本議案は、審議未了での議会終了につき廃案に。事業自体はすでに終了しており、支払いの期限もある中で今後も議論が続く模様です。2月定例会には来年度当初予算も控えており、来年度以降の事業継続のためには、しっかりとした説明が必要です。



スヌーズレンの視察

姫路独協大学を訪問。スヌーズレンとは、障がいを持つ方とパートナーがともに楽しめる空間。光、音、におい、振動、触感など様々な感覚の体験を通じて、能動的に活動したり、ゆったり過ごしたりする施設です。プレールームも隣に併設していて、このような本格的な取り組みをした施設は、ほとんど他にはないそうです。

現在計画中の(仮)子ども総合センターへの設置を、会派として提案をしております。



予算委員会 オープン委員会を埼玉大学で

埼玉大学の4名の学生から、さいたま市の将来に向かっての提言を出して頂き、委員会として議論を致しました。自転車の活用や高齢者施策など、実体験に基づいた提言は有意義な視点も多く、今後の予算審議の中で生かしてゆきたい。学生を中心とした傍聴者を含めたこうした委員会は、開かれた議会の一つの試みであると考えます。



総合振興計画特別委員会

今議会で、総合振興計画(後期基本計画)が議案として可決。総合振興計画とは、市政の根幹をなすものです。基本構想、基本計画、実施計画の3層構造となっており、今回の基本計画は、平成32年までの7年間のビジョンを示しています。

これまでは、行政が単独で作成。今議会での審査により、街の将来について、行政と、市民の代表である議会の両者が、責任を持つこととなった意義は大変重要です。

総合政策委員会

1. 地域経済の活性化策について

Q 本市の経済局は、予算の80%が融資業務に回っている。行政は、金を貸すより、企業が借りられるようにする施策にもっと注力すべき。見解を問う。

A 中小企業の経営基盤強化、地域経済の活性化に必要な制度である。さいたま市産業創造財団と連携して各種施策を行っていて、ソフト事業に注力している。

小柳の視点 保証協会保証付の制度融資は、銀行の審査基準が概して甘くなる。これは、企業にとってメリット・デメリット両面がある。市も新しい地元企業支援策を再構築する必要があると考える。



2. 本市のコンプライアンスについての姿勢を問う

Q コンプライアンスの遵守が求められている。この面から行政全般をしっかりと管理・統括する専門部署の設置など、強化が必要ではないか？

A 当該事業について一番詳しいということで、各担当課において判断している。その他、関連部署に聞いたり、顧問弁護士による庁内の法律相談も行われている。法的な分野の専門知識を持った職員の強化は、これから検討。

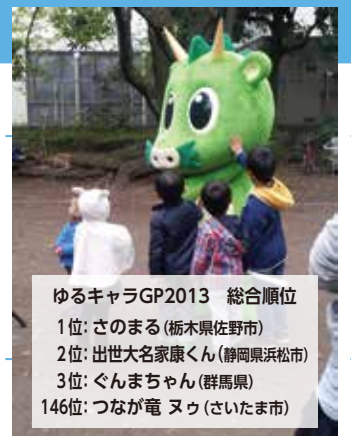
小柳の視点 一般企業では、コンプライアンス遵守の姿勢を示すことは当たり前。担当部署が判断するのは、お手盛り感や判断の甘さが残る可能性もある。関連部署や弁護士による法律相談ではなく、平素からしっかりとした取り組みが必要。

3. つなが竜 ヌウの活用について

Q キャラクター「ヌウ」の今後の地域活性化へ向けての活用の方向性を問う。

A ゆるキャラGPでは順位が振るわなかったが、一部に見られた選挙活動のようなことはしていない。本市の魅力を市民と共有し、発信する流れの中のシンボルとして考えている。現在、若手職員でキャラクター設定や動きを検討中。グッズ作成における商標は、無料であることの活用促進や発信力を高める研究をしたい。

小柳の視点 他のキャラクターも参考にし、動きや声なども含め、活用の将来的な方向性や可能性についてもっと検討が必要。特に、子どもたちに愛されるように。



竜巻対策の意見書を国に提出

本市も含め、埼玉県内に被害があった9月の竜巻。この竜巻対策について、強化を求める委員会質疑を小柳も9月定例会で行いました。

この度、さいたま市議会全会一致で、国への対策強化を求める意見書を可決。被害者への支援拡充を内容としたものです。なお、埼玉県教育委員会では、新たに学校防災マニュアルに竜巻対策を追加する対応をしています。

